

ケース会議の実施

実施場所 小学校

実施時期 5月・8月

参加者 特別支援教育コーディネーター
学級担任・保護者
放課後等デイサービス職員

目的 学校、放課後等デイサービス、保護者が児童の状況について共通理解を図り、よりよい支援方法について考える。

内容

- ・ 保護者が児童の実態について説明し、心配な点について学校や放課後等デイサービスに相談する。
- ・ 児童の学校での様子やどのような支援を行っているのかについて共有する。
- ・ 放課後等デイサービスでの活動内容や児童の様子について共有する。
- ・ 学校、保護者、放課後等デイサービスが協力して支援を行うために、必要な支援や役割分担について話し合う。

成果

- ・ 保護者の心配事が減り、安心できるようになった。
- ・ 学校、保護者、放課後等デイサービスの協力体制を築くことができた。入学する中学校にもこの体制を引き継ぐことになった。